土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

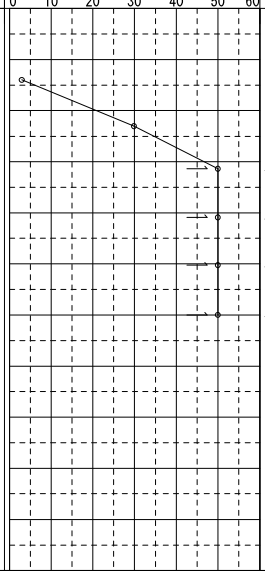
調査名	二級河川瀬野川水系熊野川支川1外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.R3-BS-2	調査位置	広島県安芸郡熊野町　地内(住田谷川隣)	北緯	34° 21’ 01.4299″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 3月17日～ 令和4年 3月18日	東経	132° 35’ 48.6036″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 273.87m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	0北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：YBM　YSO-1HA型
				エンジン	ヤンマー　NFD-9型
				ポンプ	YBM　GP-5型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	272.17	1.70		砂質土		褐灰	rd1		表土及び崩積土 ・最上位は草木根混じる暗褐の腐葉土 ・砂は細-中粒砂、細粒分を伴う ・φ20mm程度以下の細-中礫及び鉱物片を含む ・GL-1.50m以深、土砂状の風化岩塊が点在	
2	271.17	2.70		花崗閃緑岩		淡褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化土 ・風化変質が進行して岩質は著しく軟質化 ・採取試料は土柱状を呈し、岩芯まで軟質化し指圧で凹む ・岩級区分はDM級(土砂)に分級される	
3	269.37	4.50		花崗閃緑岩		淡灰			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行して岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は場所的に岩芯を残す土柱状を呈すが脆く、掌で容易に圧潰可能 ・岩級区分はDH級(軟岩Ⅰ)に分級される	
5	268.47	5.40		花崗閃緑岩		淡灰				
6	267.87	6.00		花崗閃緑岩		淡灰			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩弱風化岩 ・岩質やや軟質化、採取試料は脆い短柱状 ・岩級区分はCL級(軟岩Ⅰ)に分級される	
7									中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩 ・採取試料は短-長柱状 ・岩級区分はCM級(軟岩Ⅱ)に分級される	
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1 / 300	1	1	3 / 500		
30	1.65 / 2.15	9	9	12	30 / 300		
50以上	2.45 / 3.05 / 3.22	24	26 / 70		50 / 170	170	
50以上	4.00 / 4.18	25	25 / 80		50 / 180	180	
50以上	5.00 / 5.05	50 / 50			50 / 50	50	
50以上	6.00	貫入不能			50 / 0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				3/17
				3/18